

「あなたの当たり前は、誰かの魅力かもしれない…」

大田原通信

大田原市移住・定住交流サロン通信

地元の良さ、再認識



大田原に住んでいる私たちが「当たり前」と思っていること…。それが移住してきた人にとっては「魅力」に感じられています。この通信では、そんな大田原の魅力について、毎月1回お伝えしています。

みんなを笑顔にする「お寺」

— 威徳院極楽寺 —
しょうりゅうじ ひろのり
青龍寺 弘範さん

今回は、前号で取材させていただいた秋本農園の秋本則夫さんの紹介で、湯津上に位置する威徳院極楽寺の住職である青龍寺弘範さんにお話を伺いました。お寺の住職というと日本では昔から馴染み深いのですが、伝統的なイメージとは違った新しいこともされています。



一度は違う道へ

青龍寺さんー「実は高校生の時にお坊さん以外の世界を知りたいと思っていて。なので大学卒業後は民間企業に就職しました。」しかしある時、継ぐきっかけになった出来事があったと言います。

青龍寺さんー「父親から『後継者がいないと他の人にお寺を渡すことになる。お前はそれで良いのか』と連絡がきました。幼少期から檀家周りをして地域の方々から可愛がってもらいましたので、ここで切ってはいけないと思い、継ぐことを決意しました。そこから京都へ修行に行き、住職になりましたね。」

地域のために

「地域のために何かしたい」という思いから、様々な活動を始めたそうです。

青龍寺さんー「初めは地域の子どもたちのために、学習塾を始めました。毎週30人程の生徒が来るまでになりましたね。その後は民生委員になり、さまざまな悩みを抱えた方々の相談を受けました。」



虚空蔵菩薩

地域を盛り上げる

これまで地域の方々と様々なイベントを行ってきました。

青龍寺さんー「活動の中で出会った農家の方などと企画されたのが田んぼを使ったどろんこレースです。多くの地域の方々が来て大盛況でしたね。他にも、ウサギやリスの観察会、星空観察会、ギターの演奏会など、いろいろな新しいイベントを行いました。」



継いでよかった

諦めずに活動を続けていくと、周りの方々が徐々に理解を示してくれるようになりました。

青龍寺さんー「継いだ当初は若かったため、周りは年上の方ばかり。なかなか相手にしてもらえませんでした。しかし少しずつ地域の方々が駐車場の管理やイベント運営などを手伝ってくれるようになりました。継がなかったら今頃後悔していますね。新しいことが出来るし、楽しいんですよ。」



目指すは地域のリーダー

青龍寺さんー「昔は住民が危機になったり、何かあった際に出てくるのはお坊さんだった。そんな存在になりたい。今後は若い世代にも楽しんでもらえるようなイベントも行っていきたいですね。面白いことをしてみんなが笑ってるのが一番良いじゃないですか。」地域のお話をされる青龍寺さんは、終始笑顔でとても楽しそうでした。

威徳院極楽寺

〒324-0403 栃木県大田原湯津上1350

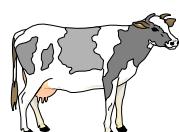


ホームページ



取材した方に聞きました
「あなたの好きな大田原」

大野放牧場周辺
イベントを行った思い出
の地でもあるそうです。



地域おこし協力隊

Instagram
始めました！



大田原市の魅力を発信していきます！

お問合せ

大田原市の移住相談窓口
大田原市移住・定住交流サロン

大田原市本町1-4-1 大田原市役所A別館2階
Tel : 0287-23-8794 (平日 / 9:00~17:00)
Mail : salon@ohtawara-ijyu.jp



大田原の暮らし、地域情報など発信中！

担当課：大田原市役所 総合政策部 政策推進課